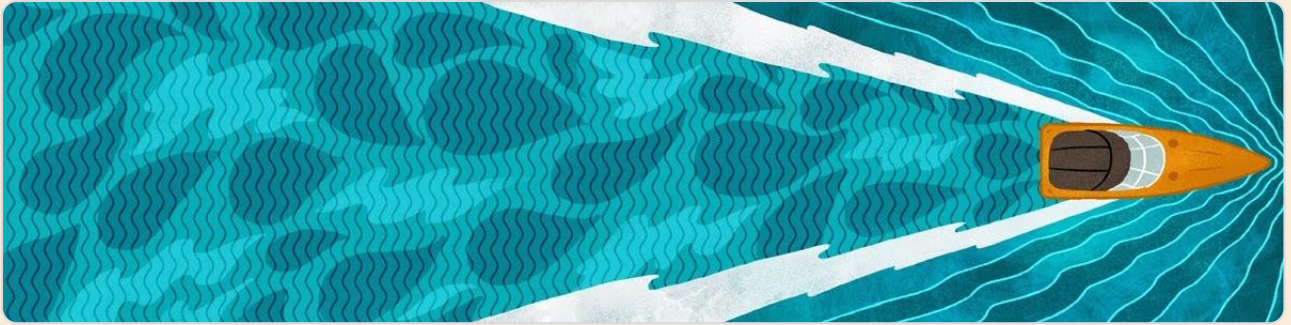




IPLAチューター報告書9月分 (2026秋)

IPLAチューターのみなさんへ

- 2026秋学期チューター委嘱期間：2026年9月18日 ～2027年8月末日
- **週2時間程度を目安に活動**（原則1学期あたり最大48時間）
- 「1日分の活動ごとに入力」し、報告書を提出してください。
もし1日のうち、複数回に分けて支援した場合などはそれに沿って分けて申請をお願いします。
(例：9/28に12-13時と16-17時で支援した→同じ日付で2回に分けて報告書作成)
- 活動内容/気付いたこと・学んだことは具体的に記載すること
(内容が不十分の場合、留学生課から連絡させていただく場合がございます)
記入例：＜9月分リンク先URL＞
- **その月に活動実績がない場合にも、報告書の提出は必要です。**
「活動日」は報告書提出日、「活動手段」は活動実績なし、
「活動開始/終了時間」「今日の活動合計時間」は0時間、
「支援内容」は活動実績なし、として報告書を作成ください。
- 重複回答の場合は、後に提出いただいた方を有効とします。
- 期日後の提出は受け付けませんので**提出期限を守りましょう。**
(期日: 翌月7日/週末や祝日を挟む場合はその翌平日)

<問い合わせ>

留学生課留学生交流係 桃野

studyab@grp.tohoku.ac.jp



* 必須の質問です

メール *



返信に表示するメールアドレスとして〇〇.△△△@tohoku.ac.jp を記録する



提出日 *

日付

2026/09/28



チューター氏名 *

東北 研一

チューター学籍番号 *

C4001234

留学生氏名 *

Test Jones

活動日 *

日付

2026/09/28



活動手段 *

※報告・謝金の対象となるのは、対面や通話といったリアルタイムでの支援のみです。

メールでのやりとりを含む、文面のみのやり取りは対象外となるので、ご注意ください。
下記に表記のないアプリの通話機能を使って支援した場合は、その他を選択し、アプリ名を表記してください。（例：Facebookの通話機能）

☒ 対面

☐ LINE（通話）

☐ Instagram（通話）

☐ WhatsApp（通話）

☐ Zoom

☐ Google Meet

☐ 活動実績なし

☐ その他: _____

活動開始時間 (30分単位/24h表記) *

サポートした時間のみ記載し、その合計時間に合わせて活動開始時間・活動終了時間を調整してください。

（例 11-13時で花見をし、日本語会話の支援をした時間は1時間の場合→活動開始時間11時・活動終了時間12時＝活動合計時間1時間）

もし記入がうまくいかない場合は、最後の「その他」の欄に記載してください。

時刻

13 : 00



活動終了時間 (30分単位/24h表記/0.5刻み) *

サポートした時間のみ記載し、その合計時間に合わせて活動開始時間・活動終了時間を調整してください。

(例 11-13時で花見をし、日本語会話の支援をした時間は1時間の場合→活動開始時間11時・活動終了時間12時＝活動合計時間1時間)

もし記入がうまくいかない場合は、最後の「その他」の欄に記載してください。

時刻

17 : 00

活動合計時間 (30分単位/0.5刻み) *

数字を入力してください。30分単位＝0.5刻み 例) 1時間半活動した場合：1.5 *週2時間程度を目安に活動

※サポートした時間のみ記載し、その合計時間に合わせて活動開始時間・活動終了時間を調整してください。(例 11-13時で花見をし、日本語会話の支援をした時間は1時間の場合：活動開始時間11時・活動終了時間12時＝活動合計時間1時間)

2



支援内容 *

学習面、生活面含めて、こういった支援を行ったか具体的に記載してください。

※活動内容が分かりにくい報告書（例：1文だけで情報が少ない、その前の活動内容のコピペ）は、確認のメールを送付します。

例① バスターミナルまで迎えに行き、寮まで付き添った。仙台駅の周辺を案内し、バスの乗り方や、最寄りのコンビニエンスストアなどを教えた。同じ国から来た留学生と共に無事に寮に到着した。

例② 会話の始まりによく使われる話題について話した。「いい天気ですね。」という言葉がよく使われるので、覚えてもらった。また、「～したい」という言葉の使い方を教え何度か使ってもらった。

例③ 私が使っていた小学校の教科書を持参した。平仮名ばかりで書かれた日本語の詩を勉強した。ふりがなを書いて音読の練習をした。宿題で音読をしてきてもらうことにした。

例④ 昼食を一緒にとった後、ICLラウンジで勉強会をひらいた。そこで課題を手伝った他に、先週授業で学んだ日本語について、披露してもらいより詳しい使い方を日本語で解説した。

例⑤ 授業に提出するための書類をコピーする必要があったので、マルチメディア棟でのコピーの仕方を教えた。

その後、学食で昼食を食べながら、これからの活動時間と場所を決めたり、日本食やマナーなどを教えたりした。

アドバイス

★ 普段の生活で使える表現や、学習した語彙や文法を使い例文をたくさん作るなど、早速使い慣れてもらいましょう。

★ 留学生が授業で使用しているテキストだけが学習教材ではありません。留学生が興味のあるものを題材にするのも効果的です。

★ 2人きりでの活動がマンネリしてきたと感じたら、他のチューターや留学生と一緒に活動すると、良い刺激になります。

★ 初めての土地で知り合いが人でもいるのは心強い。できる範囲内で、来日直後は支援してあげると、留学生も安心するでしょう。

★ 学内のパソコン、コピー機、学食、図書館など当たり前に使っているものを知らない留学生は多いものです。

★ 早めに会う日時を決めて、習慣にしましょう。

★ 自分の友達や家族を紹介する、部活やサークルについて教えるなど、より充実した留学生活を送れるようなキッカケ作りも支援の一つです。

気づいたこと・学んだこと *

例① 具体的な課題はまだ出されていないとのことだったので、学習の手伝いは会話に留まった。しっかり会話をし、適度な支援をしていきたい。とても明るい性格で、会話がかみ合わなくなってしまった時でも、わかり合おうしてくれる。助けられているところはとても大きい。今回は留学生の友人も交えて昼食をとった。交流関係を広げていくお手伝いについても考えさせられた。

例② 何かするたびに、「ありがとうございます。」と言ってくれた。バスの料金を支払った後などにもお礼を言っていて、とても礼儀正しい学生に見えた。

例③ 日本語を学ぶことに対して、非常に積極的だった。日本語の詩について学習する時間があまりとれなかったのだが、自分から宿題が欲しいと言ってきてくれた。だいたいの平仮名は読めるようになったようだ。同じ国の留学生の友人の影響も受けて、頑張っ

た。

例④ 留学生自身が「これだけ日本語と日本について知った。」と思えるようになることを目的にして、毎週会う機会にサポートしていきたいと思っている。彼女の課題等があれば、そちらを優先するが、これから何をするか考え中である。

例⑤ 約束した時間に活動ができない週が続いたときは困ったが、それ以外の時に時間を設ける他、IPLAの活動などを通してチューター活動以外でもこまめに会うことで、いい関係を築けており安心できる。

提出前の最終確認 *

記入内容に不備がないか、提出前にご確認をお願いいたします。

例えば支援内容が1文だけだと、どういった支援をしたか分かりづらい事があります。可能な限り詳細に記載してください。

☒ 活動日時と時間数に誤りはありませんか？

☒ 謝金対象となる活動内容が具体的に記載されていますか？

その他

回答を入力

